

◇あとかぎ◇

今年の春は寒い日が続いたためか、桜を楽しむ期間が長かったようです。花見には行けませんでしたでしたが、私も通勤途中の車中から毎朝眺める桜のおかげで、年度末～年度始めのストレスが多少は解消されたような気がします。その桜の美しさとは裏腹に、世界では戦争が続き、トランプ関税により世界の自由貿易が分断されています。

そのようななか、世界の分断や紛争、貧困や気候変動など地球規模の課題を解決し、平和で持続可能な未来を創造するため、4月13日に大阪・関西万博が開催されました。万博といえば、私は1970年に開催された大阪万博を見に行きました。当時9歳だった私にとって、パビリオンや太陽の塔のことよりも、初めて乗った新幹線のことだけが、何よりも嬉しかった記憶として残っています。今回の万博は、何とか時間を作って大阪を訪れ、世界の英知が結集した最先端技術を、余生の記憶としてしっかりと残したいと思っています。

さて、今回は『最近の胃瘻の話題』という特集号を企画しました。巻頭言にも書きましたが、本特集号では、胃瘻に関する原理、医療安全、診療報酬、インフォームド・コンセント、手術方法、術後合併症、術後管理、タスクシフト、在宅医療、経胃瘻の十二指腸・空腸チューブなど、現時点で胃瘻造設および術後の胃瘻管理を行う際に知っておくべき知識・技術・情報を、さまざまな観点からご執筆いただきました。原稿を通読しましたが、予想以上に素晴らしい内容の原稿が多く、自分が企画した特集号のなかでも充実度・満足度が非常に高い特集となりました。是非、小児外科医のみでなく、小児科の先生方にもお読みいただきたいと思います。

また、日本医療機能評価機構の医療事故情報とヒヤリ・ハット事例の第80回報告書「胃瘻・腸瘻の挿入・交換・取り扱いに関する事例」の分析がすでに公表されています。重症心身障害児・者を含めた胃瘻造設時の他臓器損傷や、交換時の逸脱などが非常に詳細に分析されており、本特集号と合わせて参照していただくことで、胃瘻に対する知識がより深まるのではないかと考えます。

(世川 修)

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1

本郷宮田ビル 5階

TEL 03-3814-8541 (代) FAX 03-3816-0415

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）東京医科学社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

「小児外科」第57巻第5号（2025年5月号）

特集 小児外科疾患のQOL；最近の話題

QOL 維持を見据えた小児外科疾患症例の発育評価

— 体組成分析の重要性 —……………工藤 渉
末梢挿入式中心静脈カテーテル（PICC）による

QOL 向上……………伊藤 佳史

血管ルート確保困難症例に対する腰部からの

中心静脈アクセスの QOL……………前田 悠太郎

重症心身障害児に対する喉頭気管分離術の

QOL 向上に対する効果……………小坂 太一郎

胃瘻を有するデュシェンヌ型筋ジストロフィー症例

……………光明 祐希

頭頸部リンパ管奇形に対する治療戦略；

タイミングとモダリティ……………文野 誠久

先天性嚢胞性肺疾患術後長期の合併症……………渡邊 美穂

当施設における先天性横隔膜ヘルニアの ECMO 使用の

実態と転帰、および ECMO 使用生存例の長期予後

……………梅田 聡

中腸軸捻症における腹部コンパートメント症候群と

術後 QOL……………山内 勝治

腸回転異常症の再手術に関わる因子……………山口 岳史

発症後 10 年以上を経過した短腸症候群……………出家 亨一

短腸症候群、腸管蠕動機能障害における術後腎機能

……………工藤 博典

成長期を迎えた短腸症候群児に対する

GLP-2 アナログ投与の意義……………三宅 啓

Isolated hypoganglionosis における学童期以降の

Bishop-Koop 型結腸瘻造設による QOL 改善……………高橋 正貴

中間位・高位鎖肛術後の QOL……………田村 亮

排便機能障害児に対するアナルイリゲーション

システムの効果……………瓜田 泰久

成人期に達した胆道閉鎖症術後自己肝生存者……………大久保 龍二

先天性胆道拡張症術後の晩期合併症と QOL……………前田 拓也

先天性胆道拡張症術後脾内遺残胆管……………吉丸 耕一郎

精巣捻転解除後に温存した精巣の萎縮に関する

リスク因子の検討……………鈴木 啓介

名誉編集委員

秋山 洋 石原 通臣 岩中 督

大沼 直躬 大谷 俊樹 角田 昭夫

土岐 彰 長島 金二 橋都 浩平

山崎 洋次 横森 欣司 北川 博昭

編集委員

黒田 達夫 浮山 越史 金森 豊

越永 従道 世川 修 渡井 有

古田 繁行

小児外科

第57巻第4号

©2025 年 4 月 25 日発行

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

編集

小児外科編集委員会

発行

株式会社 東京医科学社

〒112-0006 東京都文京区小日向 4-5-16

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649

e-mail: shoge@tokyo-igakusha.co.jp

営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629

e-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2025 年前金予約購読料 1 年分 49,280 円（本体 44,800 円＋税 10%）

（小児内科・小児外科 合同増刊号を含む）

* 送料は前金予約購読の方のみ弊社負担です